

# 平成26年度交流学習事業

## 実績報告

# 目次

1	交流学習事業について・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	平成26年度交流学習の実施内容一覧・・・・・・・・	2
3	平成26年度交流学習事業の成果と課題 および今後の取組みについて・・・・・・・・	4
4	実施報告書	
	・ 作並小学校・大倉小学校・上愛子小学校・・・・・・・・	6
	・ 根白石小学校・福岡小学校・実沢小学校・野村小学校・・	8
	・ 秋保小学校・馬場小学校・湯元小学校・・・・・・・・	10
	・ 根白石中学校・住吉台中学校・・・・・・・・	12
	・ 秋保中学校・南光台中学校・・・・・・・・	14
	・ 広陵中学校・折立中学校・・・・・・・・	16
5	平成27年度交流学習事業の実施内容一覧・・・・・・・・	18
6	平成27年度交流学習スケジュール・・・・・・・・	20

# 交流学習事業について

仙台市教育委員会では、平成 20 年 8 月に策定した「仙台市立小・中学校の一定規模確保に向けた実施方針」において、一定規模の基準（小学校：12 学級以上，中学校：9 学級以上）を満たしていないものの，通学距離の基準（小学校：概ね 4km 以内，中学校：概ね 6km 以内）を超える地域があるため隣接校との統合が難しいことから，統合以外の「新たな方策」を検討する必要があると位置づけた小学校 16 校（うち分校 2 校），中学校 4 校並びに，小規模化の著しい学校を対象に，小規模校における教育環境の向上を図るため，学校間で合同授業等を行う交流学習事業を実施しています。

## 【 目 的 】

小規模校の児童や生徒が，授業や学校行事などを合同で行い，新しい出会いの中から，より多くの仲間とのかかわり合いを持ち，学び合う楽しさや意義を体験するとともに，思考力やコミュニケーション力，あるいは多様な人間関係の中での協調性等をより一層身に付けていくことができるような教育環境の向上を目的としています。

## 【 概 要 】

交流学習事業は平成 21 年度から平成 23 年度までモデル事業として実施し，事業の効果や課題を検証してきました。平成 21・22 年度の 2 年間のモデル事業として小学校 8 校（4 事業），平成 22・23 年度の 2 年間のモデル事業として 3 小学校（1 事業），2 中学校（1 事業）において実施しました。

モデル事業を実施した結果，授業時数の確保などの課題はあるものの，コミュニケーション力の向上や中一ギャップの解消などにつながる有意義な事業であることが確認できたため，平成 24 年度からすべての事業で本格実施をしています。

年度ごとに実施校による報告書を作成し，課題などに関して検討を加えながら，よりよい形での展開を図っていくために実践を積み重ねています。

## 平成 21 年度からの交流学習実施校

※        の年度はモデル事業として実施。

学校名	H21	H22	H23	H24	H25	H26	備考
荒浜小・東六郷小							津波被災により実施困難と判断し，H23 より中止。
生出小・坪沼小							H26 は H27 年 4 月の両校の統合に向けて，事前の児童間交流を実施。
作並小・大倉小・ 上愛子小							上愛子小は H25 より実施。
根白石小・福岡小・ 実沢小・野村小							実沢小は H23 から実施。 野村小は H26 から実施。
秋保小・馬場小・ 湯元小							
根白石中・住吉台中							
秋保中・南光台中							住吉台中，南光台中，折立中は一定規模の基準を満たしているが，交流相手校として実施。
広陵中・折立中							

平成 26 年度交流学習事業の実施内容一覧

実施校	日時	学年	会場	教科・領域	内容
① 作並小 大倉小 上愛子小	6/26(木)	作・大・上 5・6年	上愛子小	総合的な 学習の時間	・出会いの会(学校紹介) ・集合ゲーム ・3校合同チームでドッジボール
	7/10(木)	作・大 5・6年	作並小	総合的な 学習の時間	・温泉プール体験 ・合同給食
	9/18(木)	作・大 5・6年	大倉小	体育科 学級活動	・陸上記録会に向けた合同練習 ・合同給食
	12/16(火)	大・上 6年	広陵中 (小中連携)	外国語活動 学級活動	・中学生生活のオリエンテーション で英語の授業体験等を実施
	1/16(金)	作・大・上 5・6年	上愛子小	総合的な 学習の時間	・学びの成果の発表会
	2/24(火)	作・大・上 5年	トヨタ自動車 東日本	社会科	・トヨタ自動車大衡工場見学
② 根白石小 福岡小 実沢小 野村小	6/20(金)	根・福・実 6年	根白石小	総合的な学習の時間 図画工作科	・修学旅行結団式 ・伝統工芸の授業
	6/26(木) ～27(金)	根・福・実 6年	会津若松方面	学校行事	・合同修学旅行 ※移動費は各校で負担
	7/14(月)	根・福 4年	松森工場 ほか	社会科	・バスの中で交流 ・2校混合のグループに分かれて、 施設見学、課題解決学習実施
	9/17(水)	根・福・実・野 5・6年	東北学院大 泉キャンパス	体育科	・バスの中で交流 ・陸上記録会に向けての合同練習
	11/7(金)	根・福・実 6年	天文台 ほか	理科	・バスの中で交流 ・3校混合のグループに分かれて、 見学・学習・実験等を実施
	12/11(木)	根・福・実 5年	トヨタ自動車 東日本 ほか	社会科 体育科	・バスの中で交流 ・施設見学と質疑応答、感想の発 表等を実施
	1/22(木)	根・福・実 5年	NHK 仙台放送局 ほか	社会科	・バスの中で交流 ・3校混合のグループに分かれて、 施設見学、質疑応答等を実施
③ 秋保小 馬場小 湯元小	5/29(木)	秋・馬・湯 6年	湯元小	総合的な 学習の時間	・修学旅行事前交流会
	6/4(木) ～5(金)	秋・馬・湯 6年	会津若松方面	学校行事	・合同修学旅行 ※移動費は各校負担
	6/19(木)	秋・馬・湯 6年	馬場小	総合的な 学習の時間	・修学旅行体験発表会
	9/18(木)	秋・馬・湯 5・6年	湯元小	体育科	・陸上記録会に向けての合同練習
	11/28(金)	秋・馬・湯 6年	秋保中 (小中連携)	学級活動	・秋保中ガイダンスで授業体験、 部活動見学、生徒会活動の紹介、 学校生活についての質疑応答
	12/8(月)	秋・馬・湯 6年	秋保中 (小中連携)	総合的な 学習の時間	・秋保中の職場体験学習発表会に 参加し、中学生の発表について の質疑応答

## 平成 26 年度交流学習事業の実施内容一覧

実施校		日時	学年	会場	教科・領域	内容
④	根白石中 住吉台中	5/26(月)	根・住 1・2・3年	住吉台中	部活動	・野球, ソフトボール, ソフトテニス, 陸上, 吹奏楽の各部に分かれて練習
		6/3(火)	根・住 1年	住吉台中	音楽科	・合唱をパートごと練習後, 学年全体での練習
		6/4(水)	根・住 1・2年	住吉台中	体育科(1年) 音楽科(2年)	・(体)「よっちゃれ」について知り, 動きの基本を学習 ・(音)パートごと, 全体での練習
		6/6(金)	根・住 1・3年	住吉台中	体育科(1年) 音楽科(3年)	・(体)「よっちゃれ」を全体で表現する際のポイントを考える ・(音)パートごと, 全体での練習
		6/30(月)	根・住 1・2・3年	住吉台中	音楽科	・学年ごとに住中外部講師の指導による指導 ・互いの合唱の発表と鑑賞
		10/17(金)	根・住 1年	住吉台中	体育科	・「よっちゃれ」の発表
⑤	秋保中 南光台中	7/3(木)	秋・南 1・2・3年	南光台中	音楽科	・合唱コンクール中間発表会 ・交流授業(PA活動, 合唱の合同パート練習)
		7/12(土)	秋・南 1・2・3年	市民会館	音楽科	・合同合唱コンクール実施
		9/13(土)	秋・南 3年	南光台中	学校行事	・南光台中文化祭でステージ披露鑑賞, 秋保かるた大会実施。
		12/12(金)	秋・南 1・2年	南光台中	総合的な学習の時間	・職場体験発表会体で体験内容を互いに発表, 視聴。
⑥	広陵中 折立中	5/27(火)	広・折 1・2・3年	折立中	特別活動 体育科	・学年ごとにエンカウンター ・学年ごとに体育の授業を行い, 綱引きや体づくり運動の実施
		6/27(金)	広・折 1年	折立中	音楽科	・合唱の縦割り練習による授業
		7/8(火)	広・折 1・2・3年	広瀬文化センター	学校行事	・折立中合唱コンクールで広陵中全校生徒で合唱を発表
		8/29(金)	広・折 1・2・3年	折立中	特別活動	・合同でソーランを発表し, 感想の発表やアドバイスをする
		11/14(金)	広・折 1年	広陵中	英語科	・ALT中心にアクティビティを実施, 両校生徒で班を編成し, 協同しながら課題解決を行う

# 平成 26 年度交流学習事業の成果と課題および今後の取組みについて

交流学習事業の充実を図るために、事業終了後、交流学習担当者会を開催しています。小規模校の教育環境の向上を目指して担当者会では、各実施校から事業内容の報告と意見交換を行い、今後の取組みに向けて成果と課題を共有しています。

(事業の詳細は実施内容一覧及び実施報告書参照)

## 1 児童生徒の変容について

### (1) 成果

- 多くの実施校において、活動の内容が多種にわたって取り入れられ、いろいろな工夫が見られたので、児童生徒の意欲的な取組みにつながった。  
(給食交流、部活動の交流、体育の授業でのリレー大会、バスの中での交流など)
- 交流学習を継続して行うことにより友達が増え、自然と名前を呼び合う関係になっている。また、友達と触れ合うことにより、新たな目標を設定することができた。
- 自分の学校を取り巻く自然環境や歴史的背景を調べる活動や、学校独自の取組みの様子を伝える活動等を通して、自分の学校の良さだけでなく、他の学校の良さ、それぞれの地域の良さを知ることができた。
- 交流学習を通して自分の考えを伝えようとする意識を高めることができ、それとともにコミュニケーション能力が身についてきた。
- 小グループでの活動を通して、リーダーの重要性とグループ活動に積極的に参加することの大切さを学び、自ら進んで先頭に立ち活動しようとする姿が見られた。

### (2) 課題

- 交流学習では、実技科目や特別活動での授業が多く、踊りや合唱などでの表現力の向上がそれぞれ報告されているが、自分の意見や考えを発言するなどの機会が少ないことも考えられる。より多くの児童生徒が発言する、発表を行うなど、一人一人が活躍できる機会を増やす工夫をしながら、表現力をさらに育てることができるようにする。

## 2 授業内容について

### (1) 成果

- 小規模校では経験できないような大人数での学習の機会として活用することができた。  
(各種発表会や合唱コンクールの参加、小中連携を考えた様々な活動)
- 地域や関係機関などの協力により学生による陸上競技の指導、地域の方への聞き込み調査、職場体験活動など内容をさらに充実させることができた。
- 自分の学校では成立しない部活動を交流学習に組み入れて合同チームを結成し、大会に出場することができた。県大会への出場も果たすなど大きな成果があった。
- 同じ中学校区内の小学校を対象とした交流を数多く行っていることから、中一ギャップ問題の解消につながる取組みが見られた。特に中学生がリーダーとなって小学生とともに学び合いをする場面を設定したのは良かった。
- 授業の中で行っているグループ分けを工夫することは、児童生徒の興味を高め、楽しい活動へとつながることが多かった。少人数グループの交流から始めるという視点に立った活動は、どの児童生徒にも負担が少なくスムーズに取り組むことができた。

## (2) 課題

- 児童生徒が自分の意見を発表する活動とお互いの意見を聞きあう活動をするためには、十分な時間を確保し、設定することが必要である。
- 児童生徒が主体的にリードするアクティビティをさらに積極的に取り入れ、生かす工夫をすることが必要である。

## 3 運営面での工夫について

### (1) 成果

- 年度初めに交流学习実施校の教員が集まり、今年度の計画等について打合せを行い、実施の目的を明確にすることによって、その後の事業を円滑に進めることができた。
- 年度最初の職員会議で職員に対し、交流学习についての趣旨と大まかな内容や実施計画を示し、共通理解を図ることができた。
- 相手校との打合せと連絡を効率よく行うために打合せの内容を精選したので、時間の効率を図ることができた。
- 交流学习の様子を学校だよりやホームページ等を使って紹介し、保護者や地域の方に交流学习の内容を理解していただいた。

### (2) 課題

- 授業の事前準備のために一部の教員に負担をかけている。校内での役割分担を明確にし業務が偏らないようにすることと、他校の連絡系統を一本化し、効率よく行うことが必要である。
- 教員の交流学习についての理解や指導法について研修する機会が必要である。
- 児童生徒にとって他校の教員による指導は興味を引き効果があることから、授業で複数の指導者が担当する場合には指導分担を明確に行い、進めること必要である。
- 小学1～3年生も含め、他学年の交流学习の実施についてどのように行っていくかを検討する必要がある。

## 4 今後の取組みについて

平成 21 年度にモデル事業として実施された交流学习は、その効果と課題を検証しながら平成 24 年度から本格的に実施しており、今年度は小学校 10 校、中学校 6 校で、のべ 34 回行われており、この事業は定着してきている。平成 26 年度の事業報告や担当者会で交わされた意見交換の内容から、今後は次の 2 点について取り組んでいきたい。

1 点目は、ポイントを絞った目標を設定することである。そのために①人とかかわる力、②コミュニケーション力、③協調性、④学び合う力の 4 つの視点を意識して交流学习に組み入れ、児童生徒間の仲間意識をさらに広げられるように進めていく。

2 点目は、交流学习に関わっている指導者がお互いに共通理解をしながら、さらに指導法の充実を図ることである。例えば、交流学习の目標や内容について教育センター指導主事の助言を受けるための研修会の開催等を検討していく。

以上の 2 点について取組み、交流学习事業の充実を図れるように進めていきたい。

# 平成 26 年度交流学習事業 実施報告書

## 1 実施学年

学 校 名	第 5 学 年	第 6 学 年
作並小学校	6 人 (1 学級)	8 人 (1 学級)
大倉小学校	4 人 (1 学級)	8 人 (1 学級)
上愛子小学校	17 人 (1 学級)	17 人 (1 学級)

※「児童生徒数」及び「学級数」については、平成 26 年 12 月 1 日時点

## 2 実施目標

目標 (テーマ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流学習という新しい出会いを通して、より多くの人々とかかわりを持ち、学び合う楽しさや意義を体感するとともに進んで自分の考えや思いを表現するなど、児童一人一人のコミュニケーション能力を高める。</li> </ul>
背景・理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常の学校生活の中でかかわることができる児童に限られ、多角的なもの見方や発想に触れたり、相互に切磋琢磨したりできる環境にない。</li> <li>長期間限られた人間関係の中で過ごしているため、児童相互の意思疎通が容易である反面、コミュニケーション能力が育ちにくい。</li> <li>中1ギャップの解消とよりよい適応を視野に、早期からの交流が必要である。</li> </ul>

## 3 実施結果

回	実施日	実施学年	会場	実施教科・領域	移動手段
第 1 回	6 月 2 6 日 (木)	上愛子小 大倉小 作並小 5・6 年	上愛子小学校	総合的な学習の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 2 回	7 月 1 0 日 (木)	大倉小 作並小 5・6 年	作並小学校	総合的な学習の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 3 回	9 月 1 8 日 (木)	大倉小 作並小 5・6 年	大倉小学校	体育 学級活動	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 4 回	1 2 月 1 6 日 (火)	上愛子小 大倉小 6 年	広陵中学校	外国語活動 学級活動	<input type="checkbox"/> 貸切バス <input checked="" type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 5 回	1 月 1 6 日 (金)	上愛子小 大倉小 作並小 5・6 年	上愛子小学校	総合的な学習の時間	<input type="checkbox"/> 貸切バス <input checked="" type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 6 回	2 月 2 4 日 (火)	上愛子小 大倉小 作並小 5 年	トヨタ自動車 東日本	社会科	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )

#### 4 実施内容

回	授業のねらい	授業の展開
第1回	大倉小・作並小・上愛子小3校の学校紹介や遊びを通じた交流を通して、今後の交流学習の礎とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出会いの会（学校紹介）</li> <li>・集合ゲーム（「たく生き」プログラムより）</li> <li>・3校合同チームによるドッジボール</li> </ul>
第2回	作並地域の特性を生かした体験活動や合同給食を通して交流を深める。（大倉・作並2校）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉プール体験（作並温泉の旅館にて）</li> <li>・合同給食</li> </ul>
第3回	陸上記録会に向けての合同練習や合同給食を行う。また、陸上記録会での応援方法の話合いや合同応援練習を通して交流を深める。（大倉・作並2校）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・種目毎の陸上練習（5・6年）</li> <li>・合同リレー練習（6年）</li> <li>・合同応援練習（5年）</li> <li>・合同給食</li> </ul>
第4回	中学校を会場に、3校の6年生の顔合せと交流を図る。中学校の英語と学校紹介の授業参観を行い、中学校への適応を図る一助とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校生活のオリエンテーション</li> <li>・英語科の授業体験</li> </ul>
第5回	学年別に3校の「総合的な学習の時間」の成果について発表会をもとに学び合い、相互の取組みを理解しながら、かかわり合う機会とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3校の5年生、6年生がそれぞれに「総合的な学習の時間」の学びの成果を発表したり、発信したりする。</li> </ul>
第6回	3校合同での社会科見学（自動車工場）を通して、多様な見方や考え方を友達と共有しながら、学ぶ機会を持つ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トヨタ自動車宮城大衡工場の見学</li> </ul>

#### 5 評価（成果と課題）

児童生徒の変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回は緊張しており、慣れない顔ぶれでの活動に不安を感じている児童もいた。しかしゲームや運動を楽しむことで緊張が和らぎ、多くの児童が新しい友達を作っていた。</li> <li>・6年生は昨年度の交流が生きており、他校の友達と積極的に関わる様子が多く見られた。</li> <li>・合同のバス移動や給食を通して、笑顔で会話を楽しむ様子が増えていった。</li> <li>・陸上合同練習では、互いの記録や動きに刺激を受け、本番への意欲を高めていた。</li> <li>・先輩や他校の6年生と合同のグループで学習したり、中学校生活の様子を聞いたりする活動を通して、中学進学への意欲を高めていた。</li> </ul>
授業内容の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と交流する楽しさを無理なく味わえる活動に取り組んだ。（「たく生き」プログラムより）</li> <li>・児童の主体的な関わりを引き出すため、自分の地域を案内したり、同じ目標に向かって学習したりする活動に取り組んだ。</li> <li>・共に学び合うよさを実感させるため、競い合いや伝え合いのある活動、実体験を共有する活動に取り組んだ。</li> </ul>
運営面での工夫	<p>（教員の負担、頻度・回数の適否等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流に関わる事務的な業務を担当以外が担当し、担任が実際の運営にあたる時間を確保した。</li> <li>・宮城教育大の陸上部より学生を招き、専門的な視点からのアドバイスが児童の学習に生かされるようにした。</li> </ul>
今年度の総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同学年の様々な仲間と交流することは、自分自身を知る上で大いに役立っている。さらに、他校の友達を見て新たな目標を持ったり、意欲を高めたりすることもできた。</li> <li>・交流して楽しい内容、目標を共有しやすい内容を工夫したことが活発な活動に結びついた。また、グループの分け方がより効果的な交流につながった。</li> </ul>
次年度へ向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度以上に交流学習の目的や内容を明確にすることができた（出会い、陸上記録会に向けて、中学進学に向けて、総合の成果発表、校外学習など）。さらに内容を充実させていきたい。</li> <li>・第6回の校外学習のように、実体験をもとに学習し合う機会をさらに増やしていく。</li> <li>・広陵中ともますます連携を深めながら計画を練り、交流学習が中学進学に向けた準備としてさらに効果を発揮するようにしていきたい。</li> </ul>

#### 6 広報の方法

- (  ) 学校のホームページを使い、ブログ、交流学習アイコン等を作成し、随時知らせた。
- (  ) 学校だよりなど学校からの広報誌に記事を載せ、随時知らせた。
- (  ) その他 ( )

# 平成 26 年度交流学習事業 実施報告書

## 1 実施学年

学 校 名	第 4 学年	第 5 学年	第 6 学年
根白石小学校	12人 (1学級)	10人 (1学級)	14人 (1学級)
福岡小学校	8人 (1学級)	10人 (1学級)	7人 (1学級)
実沢小学校		5人 (1学級)	4人 (1学級)
野村小学校		10人 (1学級)	6人 (1学級)

※「児童生徒数」及び「学級数」については、平成 26 年 12 月 1 日時点

## 2 実施目標

目標 (テーマ)	他校の児童との新しい出会いを通して多様な関わりを持ち、学び合う楽しさや意義を体験するとともに、思考力やコミュニケーション力、多様な人間関係の中での協調性等を身に付けていくことができるようにする。
背景・理由	小規模校で単学級の編制であるため、学校生活の中で関わることのできる同学年児童に限られている。そのため、互いの長所短所や特徴を深く分かり合える反面、他者とのコミュニケーションに対して消極的であったり、新しいことに積極的に挑戦しようとする意欲が乏しかったりするところも見られる。

## 3 実施結果

回	実施日	実施学年	会場	実施教科・領域	移動手段
第 1 回	6月20日(金)	6年	根白石小学校	総合的な学習の時間 図画工作科	<input type="checkbox"/> 貸切バス <input checked="" type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他
	6月26日(木) ～27日(金)		会津若松方面	3校合同修学旅行 (学校行事)	<input type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input checked="" type="checkbox"/> その他(バス 学校で手配)
第 2 回	7月14日(月)	4年	松森清掃工場, 七北田ダム見学	社会科	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他
第 3 回	9月17日(水)	5・6年	東北学院大学 泉キャンパス	体育科	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他
第 4 回	11月7日(金)	6年	仙台市天文台 東北大学工学部	理科	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他
第 5 回	12月11日(木)	5年	トヨタ自動車東日本, 根白石小学校	社会科・体育科	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他
第 6 回	1月22日(木)	5年	NHK仙台放送局 東北大学総合学術博物館	社会科	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他

## 4 実施内容

回	授業のねらい	授業の展開
第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行のめあてや活動内容をしっかりと理解する。</li> <li>・学校紹介や図画工作科の授業を通して、コミュニケーションを図り、親睦を深める。</li> <li>・3校による修学旅行で様々な交流活動を行い、コミュニケーション能力の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行の結団式（めあての確認、グループごとの自主研修計画の作成）</li> <li>・自校の紹介や修学旅行の抱負の発表</li> <li>・東北に伝わる伝統工芸（図工）</li> <li>・3校混合のグループに分かれての見学及び研修活動</li> </ul>
第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めての交流学习として清掃工場、七北田ダム汚水処理場の見学を行い、多様な考え方に触れながらコミュニケーションを深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの中での交流（学校及び自己紹介等）</li> <li>・2校混合のグループに分かれての施設見学及び課題解決学習</li> </ul>
第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4校合同での陸上練習を通して連帯感や競争意識を高める。</li> <li>・大学生から効果的な練習方法を学び自己ベストの更新をめざす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの中での交流</li> <li>・大学生の指導による効果的な練習の実践、感想及び今後の目標の発表</li> </ul>
第4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの交流の経験を生かしてグループ活動に積極的に取り組み、学習内容を深く理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの中での交流（めあての発表など）</li> <li>・3校混合グループによる学習・実験</li> <li>・見学での疑問や発見、感想などの発表</li> </ul>
第5回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トヨタ自動車東日本工場の見学や車中での交流を通し、多様な考え方に触れ、コミュニケーションを深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの中での交流（学校及び自己紹介等）</li> <li>・トヨタ自動車東日本工場の施設見学と質疑応答及び感想発表</li> </ul>
第6回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの交流の経験を生かしてグループ学習に積極的に取り組み、学習内容を深く理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの中での交流（めあての発表など）</li> <li>・3校混合のグループによる放送局の見学</li> <li>・質疑応答及び感想発表</li> </ul>

## 5 評価（成果と課題）

児童生徒の変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流学习を重ねるごとに、自然と名前を呼び合ったり話しかけたりする姿が多く見られるようになった。中には、今流行していることや興味を持っていることなど、個人的な内容の話も深くできる関係を築いている児童もおり、中学校での再会を楽しみにしている様子であった。</li> <li>・発表の仕方や話の聞き方などの学習態度や、他校の児童とのコミュニケーションの取り方などについて、それぞれの学校の良さが見られた。その良さが互いに刺激となって活動への意欲につながっていた。</li> </ul>
授業内容の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6年の修学旅行については、事前の結団式から3校合同で行い、修学旅行当日の交流活動がスムーズに行われるように配慮した。</li> <li>・各回とも3校混合グループによる活動を取り入れ、コミュニケーションを取りながら活動を進めるような必然性のある場の設定を工夫した。</li> </ul>
運営面での工夫	<p>（教員の負担、頻度・回数の適否等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度始めに「顔合わせ会」と称し、3校の教職員が一堂に会してそれぞれの学年の活動計画の確認・修正を行った。このことにより互いに密に連絡しやすくなり、変更が出た場合にもあまり苦勞なく進めることができた。</li> <li>・3校の行事予定と絡めて日程を設定するため月曜日に交流学习を設定しなければならない回もあり、予定が施設の休館日に当たる場合もあった。</li> </ul>
今年度の総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を共に行う中で互いの良さを見つけ、刺激を受け、楽しみながら活動に参加している児童が多かった。回を重ねるごとに親しみが増し、それぞれの児童の良さがますます発揮されてきたように感じる。</li> </ul>
次年度へ向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度も今年度同様、積極的に混合グループでの学習を設定し、必然的に交流が生まれるように工夫しながら活動の充実を図りたい。</li> </ul>

## 6 広報の方法

- ( ○ ) 学校のホームページを使い、ブログ、交流学习アイコン等を作成し、随時知らせた。
- ( ○ ) 学校だよりなど学校からの広報誌に記事を載せ、随時知らせた。
- ( ) その他 ( )

# 平成 26 年度交流学習事業 実施報告書

## 1 実施学年

学 校 名	第 5 学 年	第 6 学 年
秋保小学校	3 人 (1 学級)	13 人 (1 学級)
馬場小学校	13 人 (1 学級)	4 人 (1 学級)
湯元小学校	20 人 (1 学級)	16 人 (1 学級)

※「児童生徒数」及び「学級数」については、平成 26 年 12 月 1 日時点

## 2 実施目標

目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋保地区の児童が集まり、大きな集団の中で学び合う場を通して、互いに競い合い、高め合う活動を行わせる。</li> <li>・児童間の仲間意識を育み、進学先においても円滑に学校生活が送れるようにさせる。</li> </ul>
背景・理由	各学校少人数の児童で学校生活を送っているため、集団活動の経験が不足になりがちである。そこで三校合同で活動を行うことにより、小集団とは違った体験をさせたいと考えた。

## 3 実施結果

回	実施日	実施学年	会場	実施教科・領域	移動手段
第 1 回	5 月 29 日 (木)	6 年	湯元小学校	総合的な学習の時間 (修学旅行事前交流会)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input checked="" type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
	6 月 4 日 (木) ~ 6 月 5 日 (金)		会津若松方面	3 校合同修学旅行 (学校行事)	<input type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input checked="" type="checkbox"/> その他 (バス 学校で手配)
第 2 回	6 月 19 日 (木)	6 年	馬場小学校	総合的な学習の時間 (修学旅行体験発表会)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 3 回	9 月 18 日 (木)	5・6 年	湯元小学校	体育 (陸上記録会合同練習)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 4 回	11 月 28 日 (金)	6 年	秋保中学校	学級活動 (秋保中学校ガイダンス)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input checked="" type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 5 回	12 月 8 日 (月)	6 年	秋保中学校	総合的な学習の時間 (職場体験発表会)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input checked="" type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )



# 平成 26 年度交流学習事業 実施報告書

## 1 実施学年

学 校 名	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年
根白石中学校	3 4 人 (1 学級)	2 8 人 (1 学級)	3 2 人 (1 学級)
住吉台中学校	8 3 人 (3 学級)	8 2 人 (3 学級)	6 7 人 (2 学級)

※「児童生徒数」及び「学級数」については、平成 26 年 12 月 1 日時点の数値

## 2 実施目標

目標 (テーマ)	人の意見を聞き、自分なりの考えを持ち、その考えを表現する力を養う。
背景・理由	昨年度までは、「自分の意見を発表する力」を養うことを目標にしてきたが、今年度はまず自分の考えを持たせ、その考えを表現する力を高めたいと考えた。交流学習も、目標を達成するための貴重な機会と捉えた。

## 3 実施結果

回	実施日	実施学年	会場	実施教科・領域	移動手段
第 1 回	5 月 2 6 日 (月)	1・2・3 年	住吉台中学校	部活動	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 2 回	6 月 3 日 (火)	1 年	住吉台中学校	音 楽	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 3 回	6 月 4 日 (水)	1・2 年	住吉台中学校	体 育 音 楽	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 4 回	6 月 6 日 (金)	1・3 年	住吉台中学校	体 育 音 楽	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 5 回	6 月 3 0 日 (月)	1・2・3 年	住吉台中学校	音 楽	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 6 回	1 0 月 1 7 日 (金)	1 年	住吉台中学校	体 育	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )

## 4 実施内容

回	授業のねらい	授業の展開
第1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動を通して、それぞれの学校の違いに気付かせる。</li> <li>交流学习の基盤をつくる。</li> </ul>	野球部・ソフトボール部・ソフトテニス部・陸上部・吹奏楽部に分かれて練習を行う。 (部活動の交流)
第2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの学級の課題に気付かせ、克服のための手だてを考えさせる。</li> <li>学年での交流を深めさせる。</li> </ul>	パートごとの練習後、学年全体での練習を行う。 (第1学年合唱練習 音楽)
第3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>「よっちょれ」の基本を理解させる。</li> </ul>	指導者の動きを見せ、実際に体を動かす。 (第1学年体育)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの学級の課題に気付かせる。</li> </ul>	パートごとの練習後、学年全体での練習を行う。 (第2学年合唱練習 音楽)
第4回	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体で表現するためのポイントを考えさせる。</li> </ul>	生徒が主体的に活動できるようにする。 (第1学年体育)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの学級の課題に気付かせる。</li> </ul>	パートごとの練習後、学年全体での練習を行う。 (第3学年合唱練習 音楽)
第5回	<ul style="list-style-type: none"> <li>住吉台中外部講師の指導をいただき、合唱コンクール本番に向けて完成度を高める。</li> </ul>	各学年伊深先生と早坂先生のご指導をもらう。それぞれの学校の表現の違いを聞く。 (各学年2時間の取組み 音楽)
第6回	<ul style="list-style-type: none"> <li>「よっちょれ」を大勢で踊り、表現することの楽しさや喜びを味わわせる。</li> </ul>	生徒同士の学び合いを取り入れ、楽しく「よっちょれ」を発表する。 (第1学年体育)

## 5 評価（成果と課題）

児童生徒の変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流学习の成果だけではないが、1年生は大勢の人前でも、堂々と自分の考えを発表できるようになった。</li> <li>1年生のダンスの授業は、例年になくスムーズに進んでいる。</li> <li>ソフトボール部新人大会の合同チームの編成も、部活動交流を実施したことが、+（プラス）の要因に働いていた。</li> <li>2年生は、休憩時間に生徒が自主的に集まり、交流を深めていた。</li> </ul>
授業内容の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽（合唱練習）だけでなく、部活動交流、体育の授業を取り入れた。</li> <li>住吉台中学校の先生方に、生徒同士の学び合いの場を意図的に設定していただき、生徒の主体性をより生かせるようになった。</li> </ul>
運営面での工夫	(教員の負担、頻度・回数 of 適否 等) <ul style="list-style-type: none"> <li>授業を担当する教員は、1学期の通信票作成時に交流学习の指導案作成が重なり負担が大きかった。一部の教員のみ負担が掛からないよう、工夫が必要である。</li> </ul>
今年度の総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が自分の考えを堂々と発表できるようになり、有意義だったと思われる。</li> <li>合唱練習だけの交流学习から、新たな内容を構築することができた。</li> </ul>
次年度へ向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流学习の有効性を検証し、改善点等チームで検討したい。</li> <li>住吉台中学校の受け入れがあつて成り立つ事業なので、受け入れ校の負担が大きくなるよう工夫していく必要がある。</li> </ul>

## 6 広報の方法

- ( ) 学校のホームページを使い、ブログ、交流学习アイコン等を作成し、随時知らせた。
- ( ○ ) 学校だよりなど学校からの広報誌に記事を書き、随時知らせた。
- ( ) その他 ( )

# 平成 26 年度交流学習事業 実施報告書

## 1 実施学年

学 校 名	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年
秋保中学校	25 人 (1 学級)	32 人 (1 学級)	30 人 (1 学級)
南光台中学校	130 人 (4 学級)	116 人 (3 学級)	134 人 (4 学級)

※ 「児童生徒数」 及び 「学級数」 については、平成 26 年 12 月 1 日時点の数値

## 2 実施目標

目標 (テーマ)	<p>同学年の複数学級で競い合いながら合唱づくりに取り組ませることにより、意欲を高めさせるとともに、単学級ではできない体験を通して、歌うことの楽しさや喜びをより深く味わわせる。</p> <p>学校紹介や秋保に伝わる「秋保かるた」を通して文化祭に参加し、行事の楽しさを体験する。</p> <p>職場体験活動の発表をしたり聞いたりすることを通して、お互いの学びを深める。</p>
背景・理由	<p>秋保中は、全学年が単学級となるため、合唱コンクールを実施することが難しい状況である。中規模校と合同で合唱コンクールを実施することを通して合唱づくりへの意欲を高め、他校の刺激を受けながらハーモニーが豊かに響き合う合唱を目指したい。</p> <p>また、文化祭は、小規模校では実現できない行事であり、参加することを通して、見聞を広げさせることを目指したい。</p> <p>そして、屋台形式での職場体験発表活動を体験し、同学年でのプレゼンする方法について学び合い、成長の一助としたい。</p>

## 3 実施結果

回	実施日	実施学年	会場	実施教科・領域	移動手段
第 1 回	7 月 3 日 (木)	1・2・3 年	南光台中学校	音楽 (中間発表会)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 2 回	7 月 12 日 (土)	1・2・3 年	仙台市民会館	音楽 (合唱コンクール)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 3 回	9 月 13 日 (土)	3 年	南光台中学校	学校行事 (文化祭参加)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 4 回	12 月 12 日 (金)	1・2 年	南光台中学校	総合 (職場体験発表会)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )

#### 4 実施内容

回	授業のねらい	授業の展開
第1回	<p>合同合唱練習会（学年ごと）7/3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通の課題曲や学級ごとの自由曲を披露し合う中で、今後練習すべき課題を捉えさせることをねらいとする。</li> </ul> <p>交流授業（学年ごと）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・P A活動や合同でのパート練習を行い、両校の交流学习の仲間意識を育むことをねらいとする。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 対面式（各校の学校紹介・校歌斉唱）</li> <li>2 合同練習会               <ol style="list-style-type: none"> <li>①学級紹介と決意表明②合唱披露③講評</li> </ol> </li> <li>3 交流授業               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 本時の説明</li> <li>② P A活動（1・3年生合同パート練習）</li> <li>③ 感想発表</li> <li>④ 指導講評</li> </ol> </li> </ol>
第2回	<p>合唱コンクール7/12</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・練習成果を十分に発揮させることにより充実感や達成感を味わわせる。</li> <li>・他の学級や学年の発表を鑑賞し、より深い表現や技能を学ぶことをねらいとする。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会行事（交流学习の意義の説明）</li> <li>2 合唱披露 ＜他学級・学年合唱の鑑賞＞</li> <li>3 閉会行事（指導講評）</li> </ol>
第3回	<p>文化祭9/13</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ステージ披露での鑑賞及び展示での秋保かるた大会の実施により、お互いの学校や地域の文化を知る機会とする。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 会場設営</li> <li>2 ①ステージ披露鑑賞 ②秋保かるた大会準備・実施</li> <li>3 会場片付け</li> </ol>
第4回	<p>職場体験発表会12/12</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験で得た経験を、互いに発表し合い、視野を広げたり、プレゼンの方法を学んだりする機会とする。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 会場設営</li> <li>2 発表・視聴</li> <li>3 会場片付け</li> </ol>

#### 5 評価（成果と課題）

児童生徒の変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合同合唱練習会后、より良い合唱を目指して一生懸命練習に取り組む姿が見られた。また、合同合唱コンクールも3回目となり、お互いの学級・学校の良さを取り入れ、各学級ともより良い響きや表現力で歌い上げる技術の向上が見られた。</li> </ul>
授業内容の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いの学校の良さや地域を知る活動にもつながるような発表や生徒同士の活動を組み込むように努めた。</li> <li>・P A活動を設定したり、文化祭で「秋保かるた」の競技ブースを設けたりする企画を立てるなど、楽しく交流活動が行える雰囲気づくりに努めた。</li> </ul>
運営面での工夫	<p>（教員の負担、頻度・回数の適否等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教頭、教務主任、学年主任、音楽科主任同士が電話、メール等を活用し、スムーズに運営できるように連絡を常に取り合い運営に臨んだ。</li> </ul>
今年度の総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度もお互いに切磋琢磨し、教育効果を上げることのできる合唱コンクールを開催することができた。また、文化祭では、「秋保かるた」を通して、秋保地区の特色を発信することもできた。1, 2年生合同の職場体験発表会においても自信を持って堂々と発表したり、真剣に聞き合ったりすることができた。</li> </ul>
次年度へ向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合同合唱練習会におけるより有効な交流会の持ち方や時間の設定について、今後検討していくことが必要である。</li> <li>・職場体験発表時における聞く側のブース移動について、更に吟味検討し、改善していくことが必要である。</li> </ul>

#### 6 広報の方法

- （ ○ ）学校のホームページを使い、ブログ、交流学习アイコン等を作成し、随時知らせた。
- （ ○ ）学校だよりなど学校からの広報誌に記事を載せ、随時知らせた。
- （ ○ ）その他（保護者へのお便りで知らせた。）

# 平成 26 年度交流学習事業 実施報告書

## 1 実施学年

学 校 名	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年
広陵中学校	22人 (1学級)	25人 (1学級) ※特別支援学級3名含む	18人 (1学級)
折立中学校	107人 (4学級)	96人 (3学級)	102人 (3学級)

※「児童生徒数」及び「学級数」については、平成 26 年 12 月 1 日時点の数値

## 2 実施目標

目標 (テーマ)	より多くの生徒と関わるために、大規模校との交流における多様な活動体験を通して、社会性やコミュニケーション能力を身につけさせる。
背景・理由	本校生徒は、これまで同学年の大きな集団の中で活動する経験が少ない。また、小学校から限られた交友関係で、人間関係も固定され、コミュニケーションの力が不足している。このような理由から交流学習を行う必要があると判断した。

## 3 実施結果

回	実施日	実施学年	会場	実施教科・領域	移動手段
第 1 回	5 月 27 日 (火)	1・2・3 年	折立中学校	特活 (エンカウンター) 体育 (実技)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 2 回	6 月 27 日 (金)	1 年	折立中学校	音楽 (合唱)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 3 回	7 月 8 日 (火)	1・2・3 年	広瀬文化センター	行事 (合唱コンクール)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 4 回	8 月 29 日 (金)	1・2・3 年	折立中学校	特活 (ソラン発表の練習)	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )
第 5 回	11 月 14 日 (金)	1 年	広陵中学校	英語	<input checked="" type="checkbox"/> 貸切バス <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ( )

#### 4 実施内容

回	授業のねらい	授業の展開
第1回	エンカウンターや体育の授業を通して楽しい時間を共有することで、生徒同士の心的な交流を目指す。	各学年同士でエンカウンターと体育の授業をおこなった。体育では、綱引きや体づくり運動などを通して楽しく交流を深めることを意識した。
第2回	大規模校の生徒主導による行事に参加することで、大集団での指示の出し方や指導方法を学ぶ。	合唱の縦割り練習活動に広陵中1年生が参加し、歌唱の指導を受けた。
第3回	折立中学校の合唱コンクールに参加し、コンクールの鑑賞を行うことで競い合うことや合唱を追求することの大切さを学ぶ。	折立中学校の合唱コンクールにおいて広陵中全校生徒による合唱を発表するとともに、3年生の部を鑑賞した。
第4回	両校が文化祭に向けて行っているソーランを互いに発表し合うことで、刺激を受け、それを文化祭本番の発表に生かす。	合同でソーランを発表し合い、感想を述べ合ったりアドバイスし合ったりした。
第5回	協力して課題解決を行ったり、楽しい雰囲気のある授業を行うことで、心的な交流ができるようにする。	両校のALTを中心にして、主に楽しいアクティビティを行なった。両校生徒で班を編成して協同しながら課題解決を行なった。

#### 5 評価（成果と課題）

児童生徒の変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>他校の生徒と交流することで、合唱、ソーランともに刺激を受け、より良いものを創り出そうという意欲に結びついた。また、発表を終えた生徒の表情には自信と学校に対する誇りを持って行動するようになった。</li> <li>エンカウンターや体育の綱引きなどを取り入れたことで、生徒同士のふれあいが深まり、よりよい人間関係が構築できた。</li> <li>互いの良さを認め合うとともに、リーダーの重要性について学ぶ良い機会となった。</li> </ul>
授業内容の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>互いの良さを知ることができるように、温かい雰囲気づくりを行い、より多くのアクティビティなどの交流場面を設定した。</li> <li>よい刺激を受けることができるよう、見学や交流をする際の着目点や留意点を指導した。</li> </ul>
運営面での工夫	<p>(教員の負担、頻度・回数の適否、広報の手段等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多忙な中での運営であることから、担当者同士のやりとりを電子メールやFAXなどで行い、当日の運営や対応も交流以外の面は簡素化した。</li> <li>交流学习の様子を学校便りやブログに掲載し、広く保護者や地域に知らせた。</li> </ul>
今年度の総括	他校との交流を通して、自校と他校の良さを考えるきっかけとなり、その後の教育活動において一人一人の人間形成に大変意義深いものとなった。
次年度へ向けて	教員や各校の負担の軽減とより高い教育効果をあげる交流を目指し、他教科や特色ある教育活動への広がりを検討しながら、両校の生徒の主体性が発揮できるものとしていくこと。

#### 6 広報の方法

- (  ) 学校のホームページを使い、ブログ、交流学习アイコン等を作成し、随時知らせた。
- (  ) 学校だよりなど学校からの広報誌に記事を書き、随時知らせた。
- (  ) その他 ( )

平成 27 年度交流学習事業の実施予定内容一覧

実施校	日時	学年	会場	教科・領域	内容
① 作並小 大倉小 上愛子小	6/16(火)	作・大・上 4年	宮城県警 宮城消防署	社会科	・合同での社会科見学 ・バス車中での交流
	7/1(水)	作・大・上 5・6年	作並小	各教科	・出会いの会(学校紹介) ・各教科での合同授業
	9/9(水)	作・大 5・6年	大倉小	体育科 学級活動	・陸上記録会に向けた合同練習 ・合同給食
	11/26(木)	作・大・上 5年	NHK 河北新報	社会科	・合同での社会科見学 ・バス車中での交流
	12/15(火)	作・大・上 6年	広陵中 (小中連携)	外国語活動 学級活動	・3校6年生の顔合わせ ・中学生活のオリエンテーション ・英語の授業参観
	1/15(金)	作・大・上 5・6年	上愛子小	総合的な 学習の時間	・「総合的な学習の時間」の学習 成果を発表
② 根白石小 福岡小 実沢小 野村小	6/19(金)	根・福・実 6年	実沢小	総合的な学習の時間	・修学旅行結団式(めあて確認、グ ループごと自主研修計画作成) ・学校紹介、旅行の抱負発表 ※合同修学旅行(6/25・26, 会津) ※移動費は各校で負担
	7/2(木)	根・福・実・野 4年	松森工場 七北田ダム	社会科	・バスの中で交流(学校紹介等) ・2校混合のグループに分かれて 施設見学、課題解決学習
	9/9(水)	根・福・実・野 5・6年	東北学院大 泉キャンパス	体育科	・バスの中で交流 ・学生の指導による、陸上記録会 に向けての合同練習
	9/29(火)	根・福 5年	トヨタ自動車 東日本他	社会科 体育科	・バスの中で交流(学校紹介等) ・施設見学、質疑応答、感想発表
	11/17(火)	根・福・実・野 6年	天文台 東北工学部	理科 社会科	・バスの中で交流 ・4校混合のグループでの学習、実 験、疑問、発見、感想の発表
	12/8(火)	根・福 5年	NHK 科学館	社会科 理科	・バスの中で交流 ・2校混合のグループに分かれて、 施設見学、質疑応答、感想発表
③ 秋保小 馬場小 湯元小	5/28(木)	秋・馬・湯 6年	秋保小	総合的な 学習の時間	・修学旅行事前交流会(自己紹介や ゲームを通して交流) ・会津での交流会について話し合い ※合同修学旅行(6/3・4, 会津) ※移動費は各校負担
	6/18(木)	秋・馬・湯 4・5年	馬場小	社会科	・校外学習の事前学習会
	9/7(月)	秋・馬・湯 4年	葛岡工場 茂庭浄水場	社会科	・バスの中で交流 ・合同での社会科見学
	9/10(木)	秋・馬・湯 5・6年	湯元小	体育科	・陸上記録会に向けての合同練習
	11/24(火)	秋・馬・湯 5年	トヨタ自動車 東日本	社会科	・バスの中で交流 ・合同での社会科見学
	1/14(木)	秋・馬・湯 6年	秋保中 (小中連携)	学級活動	・秋保中ガイダンス(授業参加、部 活動見学、生徒会活動の紹介)

## 平成 27 年度交流学習事業の実施予定内容一覧

実施校		日時	学年	会場	教科・領域	内容
④	根白石中 住吉台中	6/1(月)	根・住 1・2・3年	住吉台中	部活動 生徒会活動	・野球部、ソフトテニス部、吹奏楽部、生徒会執行部ごとに合同で活動する。
		6/3(水)	根・住 1年	住吉台中	体育科	・「よっちょれ」の基本を理解
		6/5(金)	根・住 1年	住吉台中	体育科	・「よっちょれ」の創作パートを作り上げる
		6/8(月)	根・住 3年	住吉台中	社会科 英語科 理科	・根中3年が3グループに分かれ、それぞれ住中1~3組と合同授業を受ける。
		6/29(月)	根・住 1・2・3年	住吉台中	音楽科	・住中外部講師の指導を受け、合唱コンクールに向けた練習
⑤	秋保中 南光台中	7/7(火)	秋・南 1・2・3年	南光台中	音楽	・学年別に学級紹介、合唱コンクールに向けた合同練習 ・学年別 PA 活動、合同パート練習
		7/15(水)	秋・南 1・2・3年	川内 萩ホール	音楽	・合同合唱コンクール
		8/6(木)	秋・南 生徒会	秋保中	特別活動	・生徒会役員同士が学校紹介、生徒会活動の情報交換を行い、相互理解を深める。
		9/5(土)	秋・南 3年	南光台中	学校行事	・南光台中文化祭参加(ステージ鑑賞、秋保かるた大会実施)
		12/11(金)	秋・南 1・2年	南光台中	総合的な 学習の時間	・職場体験発表会(視聴、発表)
⑥	広陵中 折立中	5/25(月)	広・折 1・2・3年	折立中	特別活動 体育科	・学年別にエンカウンター ・学年別に体育の授業
		6/30(火)	広・折 1・2・3年	折立中	音楽科	・折立中の縦割りでの合唱練習に参加
		7/10(金)	広・折 1・2・3年	広瀬文化 センター	学校行事	・折立中合唱コンクールで広陵中全学年で合唱を発表 ・折立中の合唱を鑑賞
		8/28(金)	広・折 1・2・3年	折立中	特別活動	・合同でソーラン発表の練習
		10/20(火)	広・折 1年	広陵中	特別活動	・小グループでテーマを設定し話し合い活動を行い発表
⑦	生出中 中山中	5/調整中	生・中 生徒会	中山中	特別活動	・生徒会役員同士が学校紹介、生徒会活動の情報交換を行い、相互理解を深める。
		6/調整中	生・中 1・2・3年	中山中	音楽	・お互いの合唱練習を見学し、一緒に練習する
		7/10(金)	生・中 1・2・3年	仙台市民 会館	学校行事	・お互いに合唱を披露し、鑑賞する。
		12/調整中	生・中 1・2年	中山中	総合的な 学習の時間	・職場体験発表会を行いお互いの発表を聞く。

平成27年度交流学習スケジュール

※【B】は貸切バス、【T】はタクシー・ジャンボタクシー使用予定

	①作並小・大倉小・上愛子小	②根小・福小・実小・野小	③秋保小・馬場小・湯元小	④根白石中・住吉台中	⑤秋保中・南光台中	⑥広陵中・折立中	⑦生出中・中山中
4月							
5月			28日(木)総合 6年 秋保小【B】			25日(月)特活・体育 1・2・3年 折立中【B】	29日(金)特別活動 生徒会 中山中【B】
6月	16日(火)社会 作・大・上 4年 県警・宮城消防署【B】	19日(金)総合 根・福・実 6年 実沢小【T】	3日(水)～4(木)修学旅行 6年 会津方面	1日(月)部活・生徒会活動 1・2・3年 住吉台中【B】		30日(火)音楽 1・2・3年 折立中【B】	調整中 音楽 1・2・3年 中山中【B】
		25日(木)～26日(金)修学旅行 根・福・実 6年 会津方面 ※学校で手配	※学校で手配	3日(水)体育 1年 住吉台中【B】			
		※学校で手配	18日(木)社会 4・5年 馬場小【B】	5日(金)体育 1・3年 住吉台中【B】			
				8日(月)各教科 3年 住吉台中【B】			
7月	1日(水)各教科 作・大・上 5・6年 作並小【B】	2日(木)社会 根・福・実・野 4年 松森工場・七北田ダム【B】			7日(火)音楽 1・2・3年 南光台中【B】	10日(金)学校行事 1・2・3年 広瀬文化C【B】	10日(金)学校行事 1・2・3年 仙台市民会館【B】
					15日(水)音楽 1・2・3年 川内萩ホール【B】		
8月					6日(木)特活 生徒会 秋保中【T】	28日(金)特活 1・2・3年 折立中【B】	
9月	9日(水)体育・学活 作・大 5・6年 大倉小【T】	9日(水)体育 根・福・実・野 5・6年 学院大泉キャンパス【B】	7日(月)社会 4年 葛岡工場・茂庭浄水場【B】		5日(土)学校行事 3年 南光台中【B】		
		29日(火)社会 根・福 5年 トヨタ自動車東日本他【B】	10日(木)体育 5・6年 湯元小【B】				
10月						20日(火)特活 1年 広陵中【B】	
11月	26日(木)社会 作・大・上 5年 NHK、河北新報【B】	17日(火)理科 根・福・実・野 6年 天文台、東北工学部【B】	24日(火)社会科 5年 トヨタ自動車東日本【B】				
12月	15日(火)外国語・学活 作・大・上 6年 広陵中【BT】 ※小中連携	8日(火)社会・理科 根・福 5年 NHK、科学館【B】			11日(金)総合 1・2年 南光台中【B】		調整中 総合 1・2年 中山中【B】
1月	15日(金)総合 作・大・上 5・6年 上愛子小【T】		14日(木)学活 6年 秋保中【B】 ※小中連携				
	担当者会(実施校・対象校・教育センター・学校規模適正化推進室)						
2月							
3月							

作並小(H21～) 根白石小(H21～) 秋保小(H22～) 根白石中(H22～) 秋保中(H24～) 広陵中(H24～) 生出中(H27～)  
 大倉小(H21～) 福岡小(H21～) 湯元小(H22～) 住吉台中(H22～) 南光台中(H24～) 折立中(H24～) 中山中(H27～)  
 上愛子小(H25～) 実沢小(H23～) 馬場小(H22～)

仙台市教育委員会事務局 総務企画部 学校規模適正化推進室

〒980-0811 仙台市青葉区一番町4丁目1-25

東二番丁スクエア 2階

電話:022-214-8432 FAX:022-264-4428

E-mail [kyo019031@city.sendai.jp](mailto:kyo019031@city.sendai.jp)